

## 地方創生推進交付金等事業について

## 1. ICT推進プロジェクト事業

## (1) 事業概要

人口減少、特に生産年齢人口減少及び超高齢化社会の中においても、ICTの利活用により「しごと」、「ひと」、「働き方」の3つの取組を一体的に推進することで、まちの持続的な発展を目指す事業【地方創生推進交付金事業：平成28年度から令和2年度までの5年間】

「しごと」：ICTの利活用による地域経済の持続的な発展

「ひと」：次世代の島田市を担う人材の育成

「働き方」：ライフスタイルに合わせ、誰もが活躍できる働き方の推進

## (2) 主な実績

## ① 「しごと」：産業ICT導入促進

市内事業所への訪問・相談、ICT導入・利活用支援やICT利活用モデル事業の実施等

## ② 「ひと」：人材育成

ドローンを活用した学校教育におけるプログラミング講座や多様なレベルのICT講座の実施、カリキュラム構築等

## ③ 「働き方」：クラウドソーシング推進

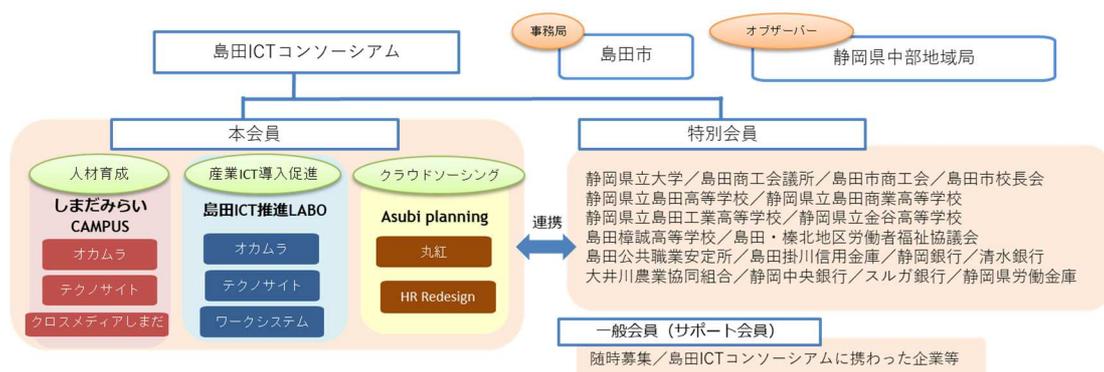
子育て世代を中心とした働きたい人と仕事を繋ぐ島田型クラウドソーシングの実施

・地方創生推進交付金実施計画における重要業績評価指標進捗状況

項目		当初値	H28	H29	H30	R1	R2	累計
20代～30代転入者数の増加分(人)	目標値(実数)	1,341	12 (1,353)	41 (1,394)	53 (1,447)	66 (1,513)	82 (1,595)	254人増 (1,595)
	実績値(実数)	—	△62 (1,279)	△51 (1,228)	41 (1,269)	△58 (1,211)	△2 (1,209)	△132 (1,209)
クラウドソーシングによる仕事創出数(件)	目標値	0	0	20	82	123	184	409
	実績値	—	0	6	133	336	230	705
ICT導入企業数(件)	目標値	0	0	2	8	12	16	38
	実績値	—	0	2	14	26	32	74

## (3) 令和3年度以降の取組

交付金期間で構築した仕組みを活用し、事業推進主体である島田ICTコンソーシアムが「ICTの利活用で暮らしやすいまちづくり」を目指し、外部からの収入や自主財源により「産業ICT導入促進」「人材育成」「クラウドソーシング推進」の取組を進める。



## 2. 新東名島田金谷 IC 周辺地区開発事業 賑わい交流拠点整備事業

### (1) 事業概要

地域の農産物の販売等による農業振興、交流人口の増加による地域振興や観光振興、地域ブランド力の強化、シティプロモーションである島田市緑茶化計画の推進等を目指し、4者連携（島田市、大井川農業協同組合、大井川鐵道、中日本高速道路）により、賑わい交流拠点を整備（令和2年11月12日開業）

「KADODE OOIGAWA」：地場産品を販売するマルシェやレストランなどからなる中核施設

「TOURIST INFORMATION おおいなび」：KADODE OOIGAWA に併設される観光案内所

「門出駅」：施設に隣接する大井川鐵道の新駅



### (2) 地方創生拠点整備交付金対象施設

TOURIST INFORMATION おおいなび

### (3) 整備後の実績

- ・「KADODE OOIGAWA」来場客数 362,000人（R2年度）
- ・「TOURIST INFORMATION おおいなび」来場客数 169,900人（R2年度）

### (4) 今後の計画

4者連携の協力体制を今後も継続し、共通理念である「大井川流域の振興」を実現するために、交流人口のさらなる拡大を図る施策に連携して取り組む。

各事業体の広報活動における相互協力や観光プランの共同開発、コンテンツのさらなる充実を図るほか、新東名・鉄道駅・無料駐車場・バスロータリーといった交通インフラの連携を強化させ、多様な観光スタイルに対応できるよう乗り継ぎの利便性をさらに向上させていきたい。